

緑の担い手

私にとって 林業とは

大北産業株式会社

滑川敬祥



この仕事を始めて感じる事は、個人的なものかも知れませんが、山の仕事は何故か疲れにくいなあと言うことです。もともと自然が好きで、ただ山の空気を吸う為に山道を散歩したりする様な人間だったので、山の開放的な空間や、澄んだ空気の中での作業が体に合っていたのかも知れません。

入社して一年数か月後に緑の雇用の研修生になりました。同期の研修生は比較的若い人たちが多く、研修生になって初めてチェーンソーに触れる機会を持った私に比べ、若くても日頃重機やチェーンソーを使いこなしている方もいて、良い刺激をもらっています。私は会社では地ごしらえや植林・刈払い等、林業の基本的な作業は経験していたのですが、伐採や木の搬出、運搬など未経験の作業には苦手意識があり、林業全体の工程がいまいちイメージできずにいました。でも講習で林業の様々な側面を教わり、緑の雇用に係わる講師の方々が熱い気持ちで林業に取り組んでいるのを感じて、山の仕事により興味が持てるようになりました。

最近では草花や木々にも魂があるように感じられ、乱雑に扱くと危険な事故という形で仕返しされるのではないかという気もして、一層自然を敬う気持ちを大事にしていきたいと考えています。

私は東日本大震災の影響で以前働いていたレストランを辞め、現在の
大北産業に入社しました。レストラン
より前の仕事も接客が主な職種
だったので、店が被災して辞めた後、
本来同じ様な職を探すところでした
が、生来の人見知りの性格で、接客
の仕事に不向きだと感じていたのと、
ハローワークで大北産業の林業の募
集を見て興味を持ち、面接をした数
週間後、入社しました。